



発行人：大河原ふゆこ
会派：せんだい自民・参政の会
事務所：〒983-0045
仙台市宮城野区宮城野1-1-13
✉ info.fuyuko.o@gmail.com



1ヶ月以上に渡った仙台市議会第1回定例会は、過去最大規模の6,757億円の予算案を可決して3月13日に閉会しました。市民の暮らしに関わる議論を様々に行いましたので、ご報告いたします。

激動の世界情勢

私たちの暮らしはどうなる？

トランプ氏がアメリカ第47代大統領に就任し、アメリカ第一主義に基づき、不法移民受け入れ拒否、パリ協定離脱、WHO脱退、多様性・平等性・包摂性推進方針の廃止等々、大統領令に次々と署名しています。ヨーロッパでも、自国の国益を追求する政党が選挙で躍進しています。これらの世界的な現象は、そもそも移民や難民を発生させ、莫大な富を一部の人々に集中させているグローバリズムへの反旗であり、国民のための安全で豊かな国家を取り戻そうという、ごく当たり前の、人々の願いの現れです。

日本の「失われた30年」、経済や社会の低迷もこのグローバル化路線の推進が真因と考えます。巨大なグローバル企業に都合のいいように、各国の経済や社会のルールが変更させられ、国民国家が弱体化しています。日本の名だたる大企業の株主の多くが、今や外国人投資家に占められている現状には愕然とします。これらについて市長の認識を伺いました。



イスラム教徒の土葬墓地整備？！

村井宮城県知事は、インドネシアなどイスラム教徒の方の土葬墓地整備の検討を始めています。国の法律では土葬を禁止しておらず、自治体の許可が必要です。本市の3カ所の市営墓地では、条例で焼骨以外埋蔵ができないと定めています。では、民間設置の可能性はあるのか。「**仙台市墓地、埋葬等に関する法律等の施行に関する規則**」第5条第4項で墓地経営の許可基準が定められており、**事実上設置はできない旨、確認しました**。私たち日本人の暮らしのリスクや文化等々を考慮しない一方的な土葬墓地推進の動きを、引き続きウオッチしていきます。

住民や自治体の情報が、 外資クラウド上に保管！



政治や自治体の基幹系業務システムを、オンライン上でデータ管理する「ガバメントクラウド」の本格利用が進められています。これまで自治体ごとに開発・運用されていたシステムが、統一した基盤に整備、運用されることで、円滑な情報連携やコスト削減、行政サービス効率化が期待されます。

しかし現状の進め方では、自治体の住民基本台帳や戸籍等、重要な情報が外国企業のクラウド上に集約されることになり、データ主権含め極めて問題です。現在、ガバメントクラウド認定事業者は、米国企業4社のみなのです。

住民の情報、本市の情報が一元的に外国企業のデータセンターで管理され、当然安全性への懸念が生じます。万一、米国政府がデータ拠出を要求した場合、断れるのでしょうか？移行費用は、政府から10/10補助、約100億が出るとのことですが、しかし月々の利用料として、市民の税金が米国企業に流出していきます。

国の進め方に大いに問題があったわけですが、安心安全なデータ管理のために本市でも最善の選択を取ってほしい、また近い将来、国産クラウドの提供が始まった際に、移行できるようにすべきと要望しました。

増える外国人労働者

人手不足の根本解決を図るべき

国は、グローバル化をますます加速する向きにあります。昨年6月、技能実習制度を廃止し、新たに育成就労制度を導入。育成就労から特定技能2号までスキルアップすれば永住や家族帯同が可能になり、日本の移民国家化への道筋が付けられました。宮城県の村井知事もまた、外国人労働者の積極的な確保に向け、インドネシアおよびカンボジアと人材確保に向けた覚書を締結しました。

一方本市は、外国人留学生や台湾からのいわゆる高度人材の獲得に注力しています。地域経済動向調査では、外国人労働者雇用に関する本市事業所の考えとして「現在雇用しておらず、今後も採用する予定はない」が59.4%、「分からない」が18.4%となっています。勘案すると、本市においては、育成就労制度移行となっても外国人労働者の大幅増とはならないようにも受け取れます。

人手不足に陥っているのは、そもそも日本の安すぎる賃金が要因ではないでしょうか。経済政策の見直し、積極財政と減税で経済成長を果たし、労働市場の好転に向けていく根本解決を国に求めることを要望しました。



令和7年第1回定例会
本会議・一般質問
(2月18日)

詳しくは録画映像をチェック！



小中一貫の英語を核とした 「(仮称)国際探究科」導入に反対！

仙台市は、新教科「(仮称)国際探究科」を創設すると発表しました。「仙台の子どもたちが世界の一員として早くから多様な価値観に触れる」「グローバルな社会で自己実現する」などとうたっています。しかし社会はすでに多様化しています。むしろ、多様な価値観に振り回されない自分軸を作るため、日本社会の価値観や文化の教育を行うことが先ではないでしょうか？

“グローバルな社会”とは、究極的には国や地域を無くしていこうというもので、そういった社会への抵抗が欧米では起きています。この30年以上の英語教育の推進は、教育上の必要性ではなく、グローバル企業にとって都合のいい人材を作ろうという経済界や財界からの要請です。そもそも、早期からの英語教育は逆効果という批判もあります。私たちは母語である日本語で、最も深く思考することができます。自分の気持ちを日本語でしっかり捉え豊かに表現していく、日本語や日本文化の教育のほうがむしろ行われるべきです。

令和7年第1回定例会
予算等調査特別委員会・教育局
(3月6日)

詳しくは録画映像をチェック！



第1回定例会のホットな議論！

仙台市音楽ホールの建設

音楽ホール等複合施設は現在、約350億円の整備費が示されていますが、今後行われる基本設計、また上がり続ける物価の影響で膨らむことが懸念されています。

複合施設は今後、「基本設計」と「実施設計」の順に建築設計が行われていきますが、今議会では、基本設計がまだ終わっていないにも関わらず、実施設計の予算も一部計上されました。巨額の事業費となることから、「基本設計」が完了し議会等で報告されたあとに「実施設計」に進むべきである。「実施設計」分の予算計上は不適切として、私が所属する会派・せんだい自民・参政の会では、一部減額の修正案を提出しました。

修正案は、賛成少数で否決されましたが、我が会派のごく真ッ当な提案が否決されるような議会の状況についても、ぜひ市民の皆さんに注視いただきたいと思います。

子どもの遊び場

子どもの屋内遊び場の設置を求める声が本市内外の保護者らから上がる中、仙台市は新たに西公園に遊び場整備を行うと発表しました。議会でも様々な議論や調査を行っています。

皆さんはどんな遊び場がいいと思いますか？私も自分の子育てを通して、またシュタイナー教育を学ぶ中で、子どもの遊びの環境については、種々大切にしたいことがあります。本市の子どもたちや保護者の皆さん、地域の皆さんと対話を重ねていきたいです。

その他議会活動

●健康福祉委員会（常任委員会）

健康福祉局、子ども若者局、市立病院が所管する事項について、審査・議論しています。積極的に質問に立っています！

これまで取り上げたテーマは下記です。



○市内弁当工場で中国人により撮影された動画の件

経緯や状況を確認。日本人の安心と安全、日本社会のルールが守られるようにしっかり対応し、対外的にも示してほしいと要望。

○HPVワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）接種事業

過去に甚大な被害を出したワクチンであり、健康な若い女兒に接種すべきではない。子宮頸がんでの死亡はそもそも少なく、亡くなっているのも85歳以上。年代別死亡率は、10代はゼロ、20代もほぼゼロ。HPVワクチンで子宮頸がんそのものを防ぐ効果は証明されていない等、推進する理由がない。

○帯状疱疹ワクチン接種事業

コロナワクチンの頻回接種により、免疫力が下がり帯状疱疹が増えているのではないかとそこにさらにワクチンを接種すれば、ますます免疫異常になる恐れがあると考え。高額なワクチン代は海外製薬会社に流れる構造にもある。免疫力を付けるような、食事や健康の指導のほうが重要。

○本市の子ども食堂の役割や支援

本市の子ども食堂は、貧困対策と地域交流拠点どちらの方向をめざしているのかという質問には、どちらかという後者という回答であった。だとすれば、より気軽に足を運べるような情報発信も必要では。一方で、前者の役割も重要であり、体制づくりや支援を行うべきではないか。

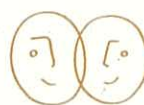
●子育て環境充実審査等特別委員会

前任期に引き続き所属。今期は「子どもの遊び場」「子どもの居場所づくり」について調査を進めています。



●広報委員会

議会HPや市議会だより等、議会の広報に関することを協議、決定しています。



声を聴かせてください

現場の声から考え動きます！
市政報告会や茶話会を随時開催！

次回の仙台市議会第2回定例会は6月に開かれます。目下、

- ✓「社会的処方」～人が病を抱えた時に薬を処方するのではなく、地域とのつながりを処方することで問題をめざそうというもの
- ✓「共同養育・共同親権」～夫婦の離婚後も、両親が協力して子育てに関わること
- ✓「地産地消の学校給食」～地域の作り手と食べ手がつながる仕掛けや仕組みづくり。
- ✓「エディブルシティ」～“食べられる街”づくり

等々について、おおいなる関心を持って調査を進めています。仙台にお住まいの皆さんと一緒に、対話を重ね課題解決を図り、よりよい仙台市をつくっていきたく、どうぞよろしくお願いいたします。